

医療生協わたり病院は、経済的理由による受診抑制を防ぐために無料・低額診療事業を実施しています。

ふくしま



医療生協

2012年7・8月合併号 第339号
発行責任者 渡辺 幸夫
http://www.fmc.u-coop.or.jp

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川127-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字釜谷地20-1

祝! 信夫支部分割 大森永井川支部 誕生 鳥川平田支部



信夫支部が分割、大森永井川支部・鳥川平田支部の誕生です。西ブロックの斎藤豊子理事を中心に、運営委員のチームワークで組合員・出資金ふやし、機関紙配布、組合員活動で常にトップクラスの信夫支部は、組合員ひとり一人の顔が見え、支え合い、助け合い、よりきめ細やかな対応ができる支部づくりのために分割しました。

組合員の顔が見える支部づくり

福島医療生協では五百人程度の支部が活動しやすいと、数年前より支部の分割を提案しています。信夫支部は千六百人を超える組合員に支えられる支部に成長し、全国的にみても大きな支部の分類に入ります。そんな中、斎藤豊子理事が活動のヒントを見つける支部活動交流集会(神戸市)で全国の実践を知り、東日本大震災で組合員の結びつきの大切さを改めて実感したことを契機に、支部分割の準備を急ピッチで進めてきました。

信夫の心を 受継いで発展

総会を前に、新旧の運営委員のみなさんが総代宅を一軒一軒訪ね、支部分割の理解を求めました。役員体制も整い六月二日、信夫支部として最後となった総会で、大森永井川支部、鳥川平田支部が誕生しました。総会では、今後のお互いの支部運営について話合いました。これからは、信夫支部の伝統を受継ぎ、と

もに助け合いながら、医療生協の活動の発展のために励むことを確認しました。



信夫支部総会での支部分割セレモニーのようす
斎藤豊子理事(中央) 小林清子鳥川平田支部長(左)
北野ひろみ大森永井川支部長(右)

- 大森永井川支部
組合員数/843 機関紙配布部数/689 機関紙配布者数/46
支部長 北野ひろみさん 副支部長 八島享子さん 会計 加藤美沙子さん
- 鳥川平田支部
組合員数/796 機関紙配布部数/649 機関紙配布者数/62
支部長 小林清子さん 副支部長 太田薫さん 会計 渡辺真知子さん

遠藤剛先生が新院長に就任

安心して生活できる地域づくりと 高齢者に思いやりのある医療を

組合員のみなさん、こんにちは。この度7月1日より医療生協わたり病院院長となりました遠藤剛(ごう)と申します。わたしは二本松市生まれで1982年にわたり病院に入職いたしました。現在まで外科医として患者さんの診療にあたってきました。今年の4月から丹治伸夫先生が福島市医師会長に就任されたこともあり、病院の運営を任されることとなりました。(丹治先生は当院総院長に就任)



医療生協わたり病院 院長 遠藤 剛

昨年の大震災原発事故によりわたり病院も大きな被害を受け、医師・看護師の退職もあり患者様には大変ご迷惑をおかけしましたが、組合員のみなさん、地域のみなさんに支えられ診療を続けてこれました。今後も被ばくに伴う健康被害への健診活動や地域の方々が安心して生活できる地域づくりや、今まで行ってきた救急からリハビリまで、高齢者に思いやりのある医療を行ってまいります。よろしくお願いいたします。

第46回 通常総代会

放射線被害のただ中でも、第六次長期計画は先延ばしにはしません。

「いのちと健康をまもる医療機関としての役割を發揮する」

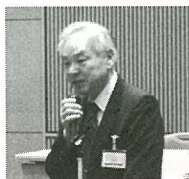
第四十六回通常総代会が、六月十七日「コラッセふくしま」において総代百七十七名の参加で開催され、すべての議案が賛成多数で承認されました。質疑では予定時間一杯まで活発な討論が続きました。

震災原発事故による放射能汚染により生協の第六次長期計画は、中絶・見直しを余儀なくされました。わたり病院の増改築も含めた医療構想は、みなさんに具体的な増改築計画を図面化してお見せできる段階にはありません。しかし、理事会は長期計画の決定をさらに先延ばしせず、改めて二〇二二年度から二〇一六年度の五年間を期間とする長期計画とすること、現時点で到達している医療構想を基本にして、中心的な事業計画である病院増改築をこの五年間に実現することを決定しました。

総代会決議より

1 私たちが暮らすこの地域には、放射能汚染に加えて高齢化・孤立化・貧困化にともなう問題が広がっており、私たちの果たす役割は益々大きくなっています。安心してくらせる福島を作り出していくために、力を合わせて次のことに取り組みましょう。

1 第六次長期計画の医療構想と病院増改築計画を進めるために、医師の育成と確保に生協の力を結集して取り組みましょう。



平 範男 理事長

2 安心して暮らせるまちづくりを進めるために、組合員をふやし、機関紙を届ける体制を強めるとともに、班会やサークル・お茶会など組合員が集う場をふやしましょう。

3 健康診断の受診・健康チャレンジへの参加・マイカルテの活用を広げ、放射線に負けない健康づくりを進めましょう。

4 保健委員をふやし支部体制の強化に結びつけるとともに、ひとり一人の組合員に目が届き小回りの利く活動を進めるために、支部の分割を進めましょう。

5 原発の廃止と事故による被害の賠償を求めるとともに、暮らしの破壊につながる社会保障と税の一体改革・PPP締結に反対する運動と、核兵器のない平和な世界をめざす運動を進めましょう。

心療内科

心療内科のご紹介

わたり病院には心療内科がございます



臨床心理士
目黒 摩樹

心療内科とは
ストレスや悩みなどの心理的な問題によっておこる身体の症状や病気を診る科

です。過剰なストレスがかかった場合、「こころ」と「からだ」は互いに関連しあい、体調不良や不眠、憂うつな気分などが出現することがあります。短期間で回復するようならば心配ありませんが、長く続くようならば治療が必要なことがあります。心療内科では悩みや困

ていること、症状などを聴かせていただき、どのように解決していったらよいか一緒に考え、お一人お一人にあった治療を進めていきます。薬物治療だけでなく、必要に応じて臨床心理士による個人カウンセリングなどの治療もおこなっています。

わたり病院の心療内科

火曜日(昼田源四郎先生)と土曜日(青野哲彦先生)に診療を行っています。認知症や働き盛りのうつ、子どもの発達障害など幅広く対応しています。初めて受診される場合には、十分な時間をかけた診察が必要となりますので、予約制とさせていただきます。最初に臨床心理士が話を聴かせていただきますので、「この症状で受診してよいのか」など迷った場合には、ひとりで抱え込まずにまずご相談ください。悩みや症状が解決・回復できるように一緒に治療を進めていきたいと思います。

心療内科の診療体制

- 昼田源四郎 医師
毎週火曜日 午前・午後
- 青野哲彦 医師
毎週土曜日 午前

※予約制になっております。まずはお電話ください。
医療生協わたり病院
☎024-521-2056



担当医 青野 哲彦



臨床心理士 斎藤小百合



臨床心理士 目黒 摩樹

わたり病院の心療内科は、医師と臨床心理士が連携して診療を行っています。認知症や働き盛りのうつ、子どもの発達障害など幅広く対応しています。初めて受診される場合には、十分な時間をかけた診察が必要となりますので、予約制とさせていただきます。最初に臨床心理士が話を聴かせていただきますので、「この症状で受診してよいのか」など迷った場合には、ひとりで抱え込まずにまずご相談ください。悩みや症状が解決・回復できるように一緒に治療を進めていきたいと思います。

おめでとうございます 受賞されたみなさん

支部表彰

優良賞

年間10回以上運営委員会を開催し、全国4課題のいずれか2つ以上を達成している支部

1. 組合員ふやし年間目標
2. 出資金ふやし年間目標
3. 5人以上または年度当初の3分の1以上の担い手ふやし
4. 3班以上の新班結成

渡利支部 平野余目支部
大笹生笹谷支部 清水北支部
信夫支部 川俣支部

班表彰

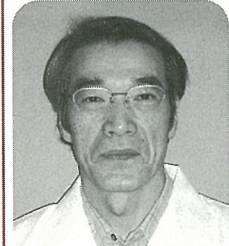
優良賞

年5回以上班会を開催し、組合員を10人以上または年度当初の班員以上ふやし、社保活動にも努力している班

渡利：遊友班 渡利：高谷班 渡利：五月班
渡利：あじさい班 蓬萊：まるめろ班
蓬萊：たけのご班 松川：浅川班
平野余目：ともしび班 平野余目：鯖東班
大笹生笹谷：さざんか班
大笹生笹谷：横堀班 清水北：夕もみじ班
あづま：あづま班 信夫：さざんか班
信夫：戸ノ内班 飯野：ひまわり班
川俣：ひまわり班 川俣：古組班
保原：久保班

うつ病

震災後に見る
こころの変化

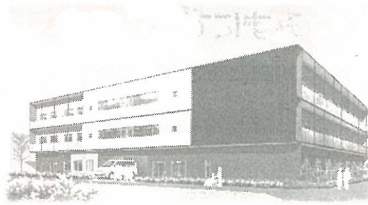


心療内科担当医
昼田源四郎

「地域まるごと安心ネットワーク」の構築をめざして

～三法人合同高齢者住宅建設委員会事務局報告～

前号でもお知らせした高齢者住宅の建設プロジェクトですが、その取り組みが少しずつ前進してきています。



2013年完成予定の高齢者住宅 (図はイメージ、実際のものとは異なります)

① **設計事業者が決まりました。**
設計事業者が㈱京都建築事務所に決定しました。京都建築事務所は、特別養護老人ホームはなしのふやわたりケアセンターはなみずきなど、わたり福祉会の施設建設に携わってきまし

② **併設するサービス事業所の検討を進めています。**
高齢者住宅に併設するサービス事業所をどうするか

③ **名称の募集を開始します。**
今回の高齢者住宅の基本的な運営は医療生協が担当しますが、

入居者の生活支援や安否確認は、主に訪問介護(ヘルパー)ステーションが担当することになりますので、このヘルパーステーションは必ず

入居者の生活支援や安否確認は、主に訪問介護(ヘルパー)ステーションが担当することになりますので、このヘルパーステーションは必ず

併設されることとなります。さら

安心や快適さを提供できるのか、三法人(福島医療生協、わたり福祉会、

第23期役員紹介

理事	平 範男 理事長	八谷美知子 東ブロック
丹治 伸夫 副理事長	安増 秀夫 西ブロック	
斎藤 直哉 副理事長	斎藤 豊子 西ブロック	
西元 幸子 副理事長	西坂 稔 西ブロック	
渡辺 幸夫 専務理事	薄 日出夫 南ブロック	
遠藤 剛 常務理事	安田 政彦 南ブロック	
佐藤 克行 常務理事	加藤 高明 北ブロック	
竹之内 長 常務理事	佐藤 正子 北ブロック	
山口 裕 常務理事	高橋 重雄 北ブロック	
尾形 和雄 常務理事	丹野 博夫 北ブロック	
白鳥クニ子 常務理事	伊藤 敏寛 達南ブロック	
北條 徹 病院副院長	佐藤あい子 達南ブロック	
治田 幸子 総看護長	斎藤 章衛 達北ブロック	
阿部ツギ子 東ブロック	若狭百合子 達北ブロック	
紺頼 純子 東ブロック		

監事	加藤 衛雄	佐藤 征司
	佐々木恵美子	佐藤 輝道



第23期役員のみなさん

震災や放射能の不安を吹き飛ばしています

ほろよい会

渡利支部 大和健雄

昨年の震災・原発事故で私たちは恐怖と不安な日々を過ごしてきました。組合員や外来の患者さんたちの不安な姿も目にし、お酒を飲んで憂さ晴らしをしようと提案があり、ほろよい治療に「ほろよい会」を発足させました。病院近くの「あさひや食堂」で酒やビール、焼酎を飲み、おつまみ含め会費は2,000円以内。ほどよくお酒を飲みながらしゃべって笑って唄って和やかにストレス解消をしています。毎月定例で開催し、桜色の顔で次回の開催を約束して終了します。

昨年12月からはギターを弾く方が新たに参加し、ギター演奏で懐メロを合唱し盛り上がっています。

毎月最終金曜日の午後5時半から7時まで開催しています。今は数名の参加ですが、お酒を愛する男女どなたでも大歓迎です。でも酒豪家はおことわりです(笑)

ご参加お待ちしております!!



1. いつも身体がだるくて疲れやすい。
2. 食欲がなく体重も減り、鏡をみると頬がこけた感じがする。
3. 寝つきが悪く、眠っても夜中や朝早くに目がさめて、疲れが取れない。
4. イライラして怒りっぽくなった。
5. 今まで楽しんでいた趣味や外出が、おっくうになった。
6. お酒を飲む量が増えた。
7. とくとき何かも投げ出して、楽になりたいと思うことがある。

千年に一度といわれる今回の東日本大震災で、東北三県は甚大な被害を受けました。とりわけ福島県では、地震・津波・原発被害という人類初のトリプル・パンチを受け、復旧・復興の見通しが、まったく見えません。こうした過酷な状況下で、たとえば、こんな症状はありませんか?

携帯電話に例えると、うつ病は電話機本体の故障ではなく、単なるバッテリー切れです。ですから休み(充電期間)を取れば、機能は完全に回復します。定期的に休みを入れ、ゆったり気ままに楽しい時間をすごす。これが燃え尽きを防ぎ、心の健康をたもつ最善の方法です。

昼田源四郎 福島大学 人間発達文化学類教授。県の委託を受けた県精神保健福祉協会の「ふくしま心のケアセンター」(震災・原発事故の被災者の心の問題解消などに取り組む事業)センター長。わたり病院の非常勤医師。



組合員ボランティアがベクレルモニターで測定します

組合員ボランティアが食品放射能を測定します

～わたり病院・ふれあいクリニックさくらみずにて～

食品500gで測定 測定時間約30分 その場で結果お渡し

今年2月から運用を始めた食品の放射能測定は放射線技師が担当していました。6月からは組合員のボランティアによる測定が始まりました。ベクレルモニターの使い方について何度も講習を受け測定できるようになりました。



わたり病院のボランティアのみなさん

地域からは「いただいた野菜だけど不安で食べていない」という不安の声も聞かれます。組合員同士で測定し、数値を確認し合うことで不安が解消され、地域の結びつきや関係の修復につながることを期待しています。お気軽にお申込みください。

測定ボランティアを募集しています。

- 測定と結果返しをさせていただきます。
 - はじめは職員も付き添います。
 - 月1回のご協力でも構いません。
 - 興味のある方はお気軽にご連絡ください。
- (福島医療生協 ☎522-1236)

【測定日】
 *わたり病院
 毎週 月・金曜日
 14:00～16:00(一日4名)
 *ふれあいクリニックさくらみず
 毎週 木曜日
 14:00～16:00(一日4名)

【申込先(共通)】
080-1811-9756
 (月～金曜日9:30～12:00)

組合員でよかった

大笹生笹谷支部長 丹治 美美子さん



主人が勤め先の健診で胃がんと診断され、指定された病院で胃の全摘手術をするように言われました。いろいろ悩んでいた所、私が通院していた診療所の先生から一度わたり病院に連れて行って見たらと言われ、診察してもらった結果、内視鏡手術でということでした。手術は成功し、早12年経ちました。ほんとうに心から感謝しています。

私は笹谷にふれあいクリニックさくらみずが設立された時に恩返しに何かお手伝いできたらと思い支部の運営と班活動に楽しく協力しております。また、美容と健康のためにとフラダンスサークルに入り月3回レッスンしています。

組合員、地域の人たちが明るく暮らせるまちづくりへとこれからも努力して参ります。



フラダンスサークルの仲間とレッスンをする丹治さん(中央)

齋藤紀先生講演会のお知らせ

テーマ 「原発事故、放射線、そして私たちの暮らし」



齋藤紀先生(当院医師・福島市健康管理検討委員会委員)の放射線と健康についての講演会が7月22日の渡利支所をかきりに、来年の3月まで市内16ヶ所で開催されます。是非ご参加ください。

- 【当面の日程】** 7月22日(日) 10:00～11:30 渡利支所2階会議室
 7月31日(火) 18:30～20:00 清水支所2階会議室
 8月23日(木) 13:00～14:30 もちずり学習センター2階ホール

【問合せ・申込先】 福島市保健福祉センター 健康推進課 成人保健係
 電話 525-7680 FAX 525-5701

今年も販売中

島原手延そうめん

360年の伝統をもつそうめんです。きれいに包装されており贈答用にも最適です。

50g×36束 4,200円 → 組合員特別価格 2,800円 お申し込み/組織部 TEL.024-522-1236

派遣目標3名 派遣募金にご協力ください

原水爆禁止世界大会 in 広島(8/4～6)

被爆から67年目の今年も原水爆禁止世界大会が開催されます。大会には核兵器のない世界をめざす国内外の人々、各国政府や国際機関の代表などが集まります。また、今年の大会は放射線被害の根絶をめざし、原発依存からの脱却、自然エネルギーへの転換を求める運動と連帯する場となります。福島医療生協の代表派遣目標は職員2名、組合員1名です。福島から「核兵器も原発もゼロに!」「平和な世界を!」の声を広げ、3名の代表を広島に送り出すために派遣募金や署名へのご協力をお願いいたします。



6/10 西ブロック主催 大盛況! 歌って元気 in NB4



“ふれんず”のみなさんの演奏にのせて、みんなで思いっきり腹の底から歌って、笑ってストレス退散! 免疫力アップも間違いなし!

職員2名が決定しました!

渡邊浩太さん[㊦] 医療介護相談室
 大島麻帆子さん[㊦] 北3階病棟



INFORMATION

これからの行事

7月～8月

どうぞご参加ください

さようなら原発10万人集会

- ◆日時/7月16日(海の日) 12:30～
- ◆会場/東京代々木公園 イベント広場

夏休みリフレッシュ企画

企画・提供 利根保健生協

- ◆日程/8月17日(金)～20日(月)
- ◆場所/群馬県利根郡片品村
- ◆募集人数/5～6世帯 15人程度

企画・提供 静岡民医連

- ◆日程/8月21日(火)～23日(木)
- ◆場所/静岡県西伊豆町「やまびこ荘」
- ◆募集人数/8～10世帯 25人程度
- 詳細はTel.522-1236(組織部)